



学校便り

令和4年度-NO.2

最初に食べるか、最後まで残しとくか

世の中には二種類の人間がいます。好きな物を先に食べる人と、後で食べる人です。新聞にこんな小学生（11歳）の投書が載っていました。「ぼくは、好きな食べ物は先に食べる方がいいと思います。理由は三つあります」「大好きな物を先に食べると『今日もしあわせ』ってなる」「アツアツで食べられる」「給食の時などは限られた時間の中で食べないといけないので、好きな物を最後までおいておくと、時間がなくなって食べられなくなってしまふ」という見解です。説得力のある意見だと思います。

終戦直後の日本では、食料は少ないのに家族の人数が多いので早く食べておかないと無くなってしまふということがあったでしょうが、今の日本ではそんな心配はいりません。しかし、後で食べようと楽しみに取っておいたプリンが冷蔵庫から忽然と無くなっていて、という経験はありませんか？ その時、食卓が瞬時に取り調べ室に変わりますよね。ご家庭によっては、古い電気スタンドが用意され、なかなか白状しない場合には出前でカツ丼をとることもあるでしょう。取り調べが終われば今度はその場が文字通り「家庭」裁判所と化し、弁護側の「じゃあ名前を書いといてよ」という主張は無視され、「プリン以上1万円以下の代替品」という判決が下されるでしょう。家庭内がキナ臭くなるくらいなら、食べられる時に食べておいた方が無難なような気がします。

今月5月15日は、沖縄が本土に復帰して50周年の日です。6年生は社会科で歴史の勉強をするので、沖縄のことや戦争のことを調べる良い機会かもしれません。戦争はいけないことだと小学生でも知っているのに、世の中から戦争は一向になくなりません。戦争というのは日々の生活だけでなく、人々の考え方すら一変させます。突然、日常を奪われた方々に、一刻も早く安息の日々が戻ることを、ただただ祈るばかりです。

日本は今年、戦後77年に当たります。つまり77年間、戦争をしていない国ということです。そして日本はこれからも戦争はしないでしょう。しかし、自然災害はいつ起こるか分かりません。そういう意味でも、できる事はできる内にやっておくことは大切な教訓だと思います。

まずは修学旅行です。行ける内に行っておきたいですね。もし制限がかかるような事態になれば、行先や泊数を変更するか日程を延期するかの判断になります。大切にしたいのは、子どもの「ちむどんどん」（沖縄方言で「胸がわくわくする気持ち」）を極力裏切らないように、ということです。プリンの喪失だけでもガッカリしますから…。



(校長 河合 康一)

【5月の予定】

- 2日(月) 内科検診(2・4年)、視力検査(6年)
6日(金) 自転車教室(3年)、内科検診(1・3年)、視力検査(のぞみ・5年)
9日(月) 朝会、視力検査(1年)、眼科検診(2・4・6年)
10日(火) 心臓検診(1・4年)
11日(水) 6年給食後下校、視力検査(4年)
12日(木) ~13日(金) 修学旅行(6年)
16日(月) 眼科検診(1・3・5年・のぞみ)、視力検査(2年)
17日(火) オープンスクール、引き渡し訓練
18日(水) 聴力検査(2年)
19日(木) 歯科検診(6-1・6-2・のぞみ)
20日(金) 聴力検査(5年・のぞみ)
23日(月) クラブ活動(4・5・6年)、聴力検査(3年)
24日(火) 聴力検査(1年)
25日(水) 視力検査(3年)
26日(木) 歯科検診(6-3・6-4・5-1)
30日(月) 委員会(5・6年)



【6月の主な予定】

- | | |
|---------------|------------------|
| 4日(土) 体育大会 | 27日(月) プール開始 |
| 5日(日) 体育大会予備日 | 28日(火) 航空写真撮影 |
| 6日(月) 代休日 | 29日(水) 航空写真撮影予備日 |

【計算タイムについて】

今年度も、清掃の時間が終わってからの10分間に、全校生で「計算タイム」を行っています。清掃が終わる2分前に放送を入れることで準備を整え、その後の計算タイムをしっかりと10分間、確保できるようにしています。計算力アップを目指して、1年間、取り組んでいきます。

【放課後学習について】

学力の定着を目的に、木曜日6校時(14:45~15:15)に放課後学習を行います。人数を絞って少人数で行いますので、参加者については、各担任から個別にご連絡いたします。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

【学習支援員について】

週に数回程度、学習支援員の方に来ていただきます。担任の補助として主に低学年を中心に授業や放課後学習に入り、児童の学習の支援をします。また、ボランティアの方も数名、定期的に来ていただきます。主にのぞみ学級の支援をしていただきます。多くの目で児童の学習を見守っていききたいと思います。